

はじめに

宮城学院女子大学キリスト教文化研究所共同研究「多民族社会における宗教と文化」は、2021年度の活動として、下記の通り計7回の公開研究会を開催した。これらのうち、第1回、3回、5回、6回の研究会が、新型コロナウイルス問題への対応により、オンラインでの実施となった。それぞれの研究会では、学外から気鋭の研究者をお招きして、活発な議論が展開された。

第1回公開研究会 2021年9月15日(水) 14時40分～16時10分(会場：オンライン開催)

「報告 混迷するタイ政治の現在」

水上祐二氏(タマサート大学政治学部研究員、元在タイ日本大使館二等書記官、元チェンマイ大学文学部専任講師)

第2回公開研究会 2021年10月28日(木) 16時20分～17時50分(会場：講義館 C403 教室)

「コロナ禍のヨーロッパ」

報告Ⅰ イタリアの事例から

堀籠莉奈氏(本学卒業生・元在イタリア日本国大使館在外公館派遣)

報告Ⅱ フランスの事例から

間瀬幸江氏(宮城学院女子大学一般教育部准教授)

第3回公開研究会 2021年11月26日(金) 15時～17時30分(会場：オンライン開催)

「ルーツを考える」 司会：永田貴聖氏(宮城学院女子大現代ビジネス学部准教授)

報告Ⅰ 狭間で立ち尽くすサイレントアイヌの経験と日本の人種的透明性

石原真衣氏(北海道大学アイヌ・先住民研究センター助教)

報告Ⅱ 複数の Roots を交差させる研究活動試論

永田貴聖氏(宮城学院女子大学現代ビジネス学部准教授)

リプライ・コメント

下地ローレンス吉孝氏(「ハーフ」研究 社会学 ハワイ大学研究員)

第4回公開研究会 2021年12月16日(木) 16:20時20分～17時50分(会場：本学講義館 C403 教室)

「コロナ禍のヨーロッパⅡ」

報告 コロナ禍フランスの大学生活：2020年度の新聞記事から

間瀬幸江氏(宮城学院女子大学一般教育部准教授、2020年度リヨン第2大学招聘研究員)

第5回公開研究会 2022年2月25日(金) 14時～16時(会場：オンライン開催)

「香港の自由の行方」

講演Ⅰ 香港危機と香港のこれから

倉田徹氏（立教大学教授、現代香港政治）

講演Ⅱ カエサルとキリスト：中国式愛国主義に向き合う香港のキリスト教

松谷曄介氏（金城学院大学准教授、中国キリスト教史）

第6回公開研究会 2022年3月9日(水) 14時～16時20分（会場：オンライン開催）

「ルーツを考えるⅡ」 司会：永田貴聖氏（宮城学院女子大学現代ビジネス学部准教授）

報告Ⅰ 東北の関西人のダイアローグー移動とことばを巡って

川口幸大氏（東北大学文学研究科教授）

津川千加子氏（独立研究者）

報告Ⅱ ルーツを見つめ直す異文化経験：京都の農村を通して理解するジャカルタの集落

中村昇平氏（京都大学東南アジア地域研究研究所連携研究員）

第7回公開研究会 2022年3月26日(土) 14時～16時30分（会場：本学講義館 C401 教室）

「ルーツを考えるⅢ」 司会：永田貴聖氏（宮城学院女子大学現代ビジネス学部准教授）

報告 何と何をつなげて考えれば良いのか：在日コリアンのフィールドワーク20年をふりかえる

講師：川端浩平氏（津田塾大学学芸学部准教授）

共催：永田貴聖研究室

これらの報告の一部について、発表者が改めて論文として書き下ろし、『多民族社会における宗教と文化』の今号に掲載する運びとなった。加えて、本学人間文化学科の八木祐子氏に、インドの婚姻儀礼をテーマとする一連の報告を、前号に続き寄稿していただいた。2020年度から引き続く新型コロナウイルス禍にもかかわらず、7回もの研究会を開催できたのは、ひとえに学内外の研究者によるご協力の賜物である。深く御礼を申し上げたい。

共同研究代表 市野澤潤平